

刊夕日一十月三



定額一冊金貳拾一ヶ月金五拾貳圓陸拾五厘
廣告料五圓十二字一行情五拾五圓
日曜祭日の翌日休刊
發行所 常磐新聞社
印刷所 常磐新聞社

ハルピン事變籠城記 (三)

ハルピン日本小學校長 白髮隆孫氏寄

△一月三十一日
今朝こそ皇軍の星章、武勳を語る聯隊旗を吾ハルピンの地に迎えることで騒ぎ昨夜子供等に

「明朝はキツト日本の兵隊さんが来るでせう、これから歓迎の旗を作つてやるから早く寝よ」

と傳へた、彼等は恐怖の裡に喜色を漂べて命令一呵、明朝を期待し就眠せるなどこゝにも戦時気分はあらはれた。

「皇軍来る」を想ふ時、忽ち國民的感激は、全身の血潮を高なりせしめ、熱涙！萬歳！絶叫！其當時を想起し一日千秋の思ひして其時の來るのをまつた。

「ハルピン小學校全焼」とのラヂオ放送はかつて吾校に足を入れたる數万の同胞に多大の衝動を與へ南滿及内地より見舞の電報飛來す餘は

「校舎及全職員家族共に無事、職員は各々部署につき力圓中」

との返電を發した、暫くして吾等四千の同胞唯一の通信機關は又杜絶せられ、袋の鼠をして彌々窮地に陥らしめた。

吾飛行機は通信筒を特務機關(義勇隊本部)に投下

「ハルピン出動の先發部隊は三十日石頭城子發、艇一里餘に亘り、列車隊を張り進撃を續け六時には双城堡を完全占據し吾將士の意氣衝天の概あり、一舉にハルピンに迫らんとす」

と、この報道に接したる吾等は雀躍、一刻も早く皇軍の入場せんことを待ちたりしも遂に其の勇姿を拜する能はず、避難以來着の身の儘、一度の入浴否充分の洗面さへ出来難き生活、綿の如く疲れ果てたる体を撫でつゝ最後の御奉公今夜一夜を不眠不休に過ぎんと意氣頗る昂り各々勇を鼓して任務についた。

△二月一日

四千の同胞曉の夢をまどろむ六時半、一大爆撃天城を震撼せしめて、婦女子は床を飛び起き昨夜來、不眠不休一夜を明かしたる吾義勇隊はスハヤと電光石火、疾風迅雷、極度の緊張を呈し、各自武器をもつて部署についた。

「ポレワヤと一面街の角な

る吾國運轉會社の第一倉庫(庫中百萬圓の商品を蔵す)東側に爆弾を投擲し外壁二尺平方を崩壊せり」と

丁超軍は大膽にも吾長谷部先頭隊に双城堡方面に於て三十一日拂曉逆襲し來り彼我猛烈なる交戦の結果、彼は死傷者四百を遺棄し、吾も亦四十七名を出したりとの聯合通信に接し當時の戦況の如何に激烈なりしか想像するに足る。

正午頃吾飛行機二機長春より來り、吾居留民避難所上空を旋回して吾〇〇〇本部へ通信筒を投下、更に郊外〇〇〇方面の敵の陣地へ爆弾を投下、彼に多大の損害を與へて南方の空へ翼を隠した。

各避難所は戦線の郊外に接近するにつれて防備の上に防備を加へ鐵條網、砂囊…蟻一匹も侵入するを許さざる嚴重さ、彼等暴徒敗殘兵否正規兵來らんもよく數時政を支へ得るの確信が出來た。

時計眼鏡
トキワヤ
平一・電三三九

平新川町十九

木村病院

電話一六四番

産婦人科 院長 木村寅次郎
内臟外科 醫學士 松永憲一
整形外科

眼鏡特賣
高級レンズ
獨逸ユーゾンネ光學工場製
ブノクトリヒ
特價 三圓五十錢
舶來生地メニスレンズ
近視用 三圓より
三柱鏡用 三圓より
學生用(クロム)三十錢
實用枠(セル)より
其他最新型各種
特價提供
醫家の處方に依り眼鏡親切に調製
◇見習店員入用十四五歳位

各眼科院御用

外科 X 光線科
性病科
外科
平町田町
安齊外科醫院
電話四七五番

入院隨意

度量衡、計量器、吸入器、酸素、酸素吸入器
關内藥局
電話四〇番

寒い北海道で出来る靈藥
胃腸病藥の王座を占むる純漢法藥
松前公御典醫之秘法 家傳
靈効散

胃腸病で苦しむ方、心臓、腦病、痔疾の方は是非御試し下さい、見本藥は御希望の方に進呈致しますから御遠慮御申出下さい、本藥は有り觸れた胃腸藥の様に一時抑へや習慣性になるものでなく確かに根治の目的を達します、効き目が効能書以上でアイフの三分の一安價で効はアイフ以上値段が安いものですから實際大評判の靈藥です、本藥は責任藥に付き無効の時は返金致します(定價は八日分五十錢です)

靈効散 平町古鍛冶町(電話四四番)
地方代理店 阿康藥舖

玉屋洋品店
平町田町通電話六五六番

小兒ノかんむしニあかひき丸堀藥局
平町二丁目
電話三三六

磐城名産
らか鹽と節鯨

魚問屋
店理代平命生本日大最優最
榮盛賀志
番一二三電 目丁四平

配達敏速

救護委員の

受持區

けふ正式に決定

既報平町の救護委員として
縣より囑託された十一名は
本日町役場に集合受持區域
を左の如く決定した

(安戸正勝氏)長橋、材木
町(山崎清三)研町、古鍛
冶、紺屋町(渡邊貫一氏)
一、二、三丁目(大森勇氏)

鍛冶町、南町の西部(酒
井國三郎氏)南町の東部
(薄葉巳之松氏)新川町、
月見町、堤ノ内(猪狩庄
平氏)四、五丁目、立町の

一部(高田清一郎氏)鎌田
立町の一部(門傳清吾氏)
田町、搔槌小路、舊城跡
(木鈴實雄氏)胡摩澤、久

保町、北目、八幡小路、
舊城跡の一部(遠藤心光
氏)仲間町、北白銀、南
白銀、大工町

に完成の見込である同江筋
幹線は従来迂曲甚だしく直
線とするために地主側と
も折衝を重ね今回協定を見
るに至つたものでこれが完
成とともに工費二十六萬餘
圓を投じた愛谷堰全部の工

事完了するわけで四月花時
を期し竣工式を舉行するこ
とになつた

四倉築港 補助陳情

石城郡四倉町では築港工事
費に對し七年度において農
林省の補助を受くべく新妻
町長は町議四名と共に陳情
運動のため上京したが同築
港の起工式は特別議會後四
月中旬となる見込みである

小名築港増額

内務省で決定

總額五十萬圓

内務省では産業開發五ヶ年
計畫として港灣修築事業の
増額施工を計畫し十日大藏
省へ決定費額を要求したが
小名築港は前年度卅五萬圓
に對し新に十五萬圓を加へ
總額五十萬圓を以て施行す
る事となつた

堀坂隧道 改修

新井局長 來郡決定

來郡決定

常磐線、湯本兩驛間の堀
坂隧道は内部に無數の龜裂
を發見鐵道當局では之が應
急處置を考究中の處六日新
井東鐵局長の出張視察を見
るに至り遂に同隧道湯本間
の一キロの地點二十米の上
を掘削することに決定十一
日午後一時から水戸保線事
務所に於て之が工事入札を
なすことになつたが工費四

運搬從業 共存共榮

磐城の新團體

石城郡内郷村磐城炭礦高坂
坑内の運搬從業員は相互の
共存共榮を圖る爲め今回共
同會を組織し會員の募集を
開始したと

平商の 優等生

けふ發表

平商業學校にては本日午前
十時今年卒業生の成績發
表をなしたが優等生左記の
如くである

- △五年制
- (一) 番 内郷村大字小島字
花輪三番地清一 堀根内武
久
- (二) 番 内郷村大字小島字
川崎一番地鐵太郎長男會
田國男
- (三) 番 相馬郡大美加村字
森合八番地常隆長男高野
巖

女青幹部講習

明十二日第二校に

持込米

石城郡聯合女子青年團は明
十二日午前十時より平第二小
學校作法室にて幹部講習會
を開催するが講師は陸軍少
將伊藤政之助氏及び東京女
子經濟專門學校教授山崎敏
一氏である

石城郡神谷村農會の共同販
米は昨十日行はれる豫定で
あつたが各農家に於ける持
込米は減少し持込米少い結果
未だ延期された

募一二勇士遺族の 弔慰金

嗚呼忠勇無比の三勇士何ぞ其の壯烈なりしぞ鬼神も
爲めに慟哭せむ、實に振古未有驚天動地の偉業に
して人生を超越し洋の東西に冠絶す、古今英雄多し
と雖も蓋し三勇士に如くものなからん宜なる哉其の
心緒英雄以上の英雄なり、
今や同胞國を擧げて戦に赴かんとす誰か彼の三勇士
に感激せざるものあらむ殊に目下外交は危機に瀕し
東亞の風雲彌々急ならむとする秋、内は國民の士氣
を鼓舞し外は國軍の威武を宣揚する誠に三勇士に負
ふ處甚だ大なるを痛感するなり、
名將曰く「吾が皇國も三勇士ありて亡びず」と真に
至言にして正に彼を弔ふ最大最高の弔辭なり、
然り彼等三勇士こそ日本軍人の龜鑑にして大和民族
發展の尊き犠牲者なり、
吾人は彼等殉國の忠誠を永遠に紀念し併せて千古不
磨の英靈を弔はん爲め彼の三勇士遺族へ薄志を饒け
以て聊か勇士の靈を慰んことを
愛國の士奮つて賛せられんことを

主唱 阿部政右衛門 後援 常磐毎日新聞社

- 一 弔慰金一人金拾錢均一に願ひます
- 二 右弔慰金は平驛前丸ッ阿部石炭店又は常磐每
日新聞社に御届を乞ふ
- 三 寄附者芳名を常磐毎日新聞紙上に掲載領收書
に代ふ

寄附者芳名 第七回分

田町	鈴木ミツ	南町	村田幸吉
同	同 玉枝	三丁目	柏原トミ
同	同 満男	同	同 美代子
北目町	加藤 與四郎	同	同 貞子
草野村	渡邊 源治郎	同	同 孝子
四丁目	西 牧 齊	同	同 春枝
舊城跡	小谷松莊太郎	四丁目	草野正巳
谷川瀬	鈴木 豊興	同	高藤守男
鎌田町	吉村 雅道	同	志賀盛榮
同	吉田 諄	同	同 榮一
一丁目	飯村 鐵之助	同	同 謙二
材木町	高橋 清	同	松崎喜一

産業博開會式次第

▽...來月一日第一會場に

既報昭和産業博覽會の開會式は四月一日午前十時より仲町の第一會場に左の如き順序にて行はれると

- △着席 午前十時
- △開會を宣す 副會長
- △奏樂國歌 一同起立
- △主催會長の會務報告
- △會長式辭
- △總裁の舌辭
- △各大臣祝辭
- △來賓祝辭
- △出品人物代祝辭

表彰

平町郷軍の功勞者二名

石城郡在郷軍人分會員中功勞者としてこの程鈴木大將から左記兩氏が表彰された佐藤伊太郎 高崎正明

ガソリンも大量購入

平自動車協會が總會を開いて協議

自動車協會平支部内の營業者はガソリン油を夫々少量宛購入して居つたが最近經費節約上是れを共同して大量購入せんとの議が具体化したので十六日午後一時より平署會議室に總會を開き種々協議する事になつた由

剣道 階級試験

講習終了後

昨報平署會議室に催される武徳會平分會主催の剣道講習會では終了後希望者に對

書初展

平校入賞者

去る二月中宮城縣初等教育會主催にて開かれたる書初め展覽會に平第一小學校より出品せる者の中入賞者左記の如くである
△天賞 二ノ一鈴木善彌 同片寄藤次、三ノ三青木

- 肇、二ノ三中川圭二、五ノ二根本忠雄
- △地賞、二ノ三半谷正文 六ノ一橋本喜言、五ノ三山崎道雄、二ノ一清水重政
- △人賞 三ノ四高階文三 高一ノ二鹽澤友吉、三ノ三牛久恭志、高一ノ二高

一致團結して 難局に善處

大越會にて宣言

石城郡内郷村大越會にては去る七日午後一時より家政女學校に記念講演會を開き白石丈夫氏の講演後左の宣言をなしたと
△吾等は縣愛國機建造費に

短銃の無届所持者調査

▽...届出を怠れば 断然處罰さる

平町では時節柄拳銃、短銃仕込刀の類を嚴重に取締ることになり十五日から卅一日迄に無届所持者を調査するが右期間内に届出を了したものは別として若し怠つた場合は取締規則を適用し断



明日のラジオ

今晚の部

- ▽後六、〇〇 子供の時間お話電氣の一生伊藤幸二
- ▽後七、三〇 講演「満州國の前途と、その使命と責任」矢野仁一
- ▽後八、〇〇 講演「飄蕩屋政談」神田昭山
- ▽後八、四〇 歌澤
- ▽後九、〇〇 三曲 琴佐々木松波外
- ▽後九、三〇 奉天より

明日の部

- ▽後九、四〇 全國ニュース 氣象通報 番組豫告
- ▽前九、一〇 料理献立「牛肉のバター焼」松本良雄
- ▽前二、〇〇 家庭講座「青年期の保健に就て」石川仁一郎
- ▽後八、〇〇 浪花節「吉良上野」桃中軒雲右衛門
- ▽後二、〇〇 家庭講座「琴

他から見られても 恥なき様にと

自動車検査一層嚴重

本年度第一回平署管内の各種自動車の車體検査は廿六日より卅日迄八幡小路警察署グラウンドに行はれる事になつたが今回は四月初旬頃縣下自動車營業者組合の總會が平町に開催される事になつたので縣下より六百餘名の營業者が集合し平署管内の營業狀態を視察する事になる爲めより一層嚴重な検査を行ふと

稲作栽培講習會席上

功勞者表彰

石城郡江名町農會では十三日十三の兩日縣穀物検査所より鈴木技手を招き同町永崎

- 曲(一七) 宮城道雄 實
- 演宮城芳子
- ▽後六、〇〇 (子供の時間) 手風琴による「ハーモニカ二重奏」日本ハーモニカ交響樂團トリオ
- ▽後七、三〇 時事講座「上海の戦線を視察して」海軍大佐武富邦茂
- ▽後八、〇〇 義太夫「攝洲合邦辻」豊竹巖太夫 鶴澤紋左衛門
- ▽後八、三〇 琵琶「川中島」大館錦旗
- ▽後九、〇〇 ピアノ獨奏レオンロタ
- ▽後九、三〇 (奉天より) 「滿洲國の諸制度に就て」奉天日日新聞社

平職業紹介所報告

◇求人部

- △倉働 尋卒 給料面談 (四倉町某醬油工場)
- △出前持 廿才前後 尋卒 給料面談 (平町某そば屋)
- △雑夫 廿才以下 尋卒 月五圓位 (豊間村某鮮魚商)
- △兒守兼雜役 十四五才 尋卒 年十圓 (渡邊村某)

◇求職の部

- △機械運轉 廿七才 高卒 給料面談 (平町某)
- △土工夫 廿三才 尋二修 給料面談 (平町某)
- △旅館番頭 卅五才 給料面談 (磐崎村某)
- △外交員 卅二才 商業卒 給料面談 (好間村某)



【載轉禁】

渡邊 默禪 作
布施平八郎 畫

別れ路 (4)
千代子もどうせ明朝は兄の出發を見送らなければならぬので一泊から同行する事にした。途中から歌治と叔父の治右工門とに電話をかけて東京驛から電車に乗った。

横濱の警察に突かけていた二人は、その面會者の舊店員高野熊吉であつたことを知つた時にすつかり驚かされた。

高野熊吉は警部立會の下に淨念と千代子とに面會した、呪に燃ふ立つてゐる彼の心は血走つた眼の色までも悪魔のやうに物凄く彩らせた、その一語一句といへこと悉く郁子と川島とに對する復讐の毒矢でないものはなかつた、十文字家の財産を横領すべく二人の間に計畫された秘密の事實として語るところは、淨念が集めて置いた材料のやうな表面のものではなく、メスで解剖するやうに裏から裏へ行渡つてゐた。

いつぞや親族會議の時に紛失した燃え残りの紙屑は郁子の犬であつた小間使のお竹がこつそり盗みとつたもので、その後自分お竹に渡つてあると云つた。そして



かくして彼は下宿宛の手紙を書いた。
郁子不品行を證明するためにフィルム役者の北川とその妹花子と双んで撮つた寫真……これは横濱の或る寫真屋から手に入れた……をもそれに添へて渡した。「お嬢さん、これこそ私は

十分懺悔したつもりです、もう思ひ遣さず監獄へゆかれます、どうぞ赦して下さい、木村君頼みますせ」それが最後に投げた彼の左様ならであつた、淨念は直と酬ひた。
「よしッ、仇は俺がとつてやる、地獄で罪を滅ぼして善人になつて来い」
息を吞んで聞いてゐた千代子は恐ろしい人の心、醜いかぎりの世相をまざまざと見せつけられて身慄ひした、そして譯もなく涙がこぼれた、その晩は吉田町邊りの安宿に一泊して翌朝の

だ、同志打からボロをさらひ出しただけに面白い、残念だがこの矢先だ、僕が關り合つてゐられないから前の手で宜しくやつてくれ相當の辯護士にでも頼んでな」
「え、ようがす、今日にも木場の壽屋さんに相談して告訴してやりませう」
「叔父かい、いやあれは駄目たらうぜ、第二の川島事件が起らなければいゝがと心配してゐるんだ」
「そんなことがあるもんですか、今に此處へお出になるでせう」
「いや、來はしまし」
話ながら歩いてゐるうちに棧橋側へ山のやうに横たはつた春日丸の下まで來たと昇降口のあたりは手荷物運ぶ運搬夫や乗客や見送りが右往左往、目まぐるしいほどに黒い渦を卷いてゐた

科病柳花・科兒小・科内
院醫沼藤
應需院入
町屋紺町平 番七〇五話電

の物刷印
て總は命用御
會社刷印日每警常
番〇三六話電

貸切は●●●
セダン揃ひで
貸切専門の
昭和タクシーへ
電話三四三

平町鍛冶町吉田屋吳服店西隣り
齒科
矯正科 口腔外科 齒槽膿漏科 治療科 補綴科 齒列
◇受付は午前八時より午後八時まで
但し急患者は此の限りにあらず
東京齒科醫學士 中村文一
中村齒科醫院

新入學生への
プレゼントには……
御携帶用に
ゼヒ時計を
お奨め致します
常に商品の確實と流行の粋は時代のスタートを切つて顧客本位を生命として各位様の御来店をお待ちして居ります
御注文及び修理は
電話一九五番へ
鐵道省御用
金 光 堂
平五(釜屋向ひ) 電話一〇〇番

時は春!!!
◎新入學生の通學に……
◎ゼヒ必要な時計を……
營業種目
時計 眼鏡 指輪 電燈 其他貴金屬
店計時堂寶白
(へ向店服吳橋諸)町川新町平

誠に便利な
券品商
金額の多少に不拘調
製致します
平町南町
鳥肉商 鳥 菊